

## 富川市、伝統市場を復活させるための突破口を探る

オンラインプラットフォームを取り入れることで、伝統市場の経営革新を目指す

富川市は、2021年の4大コアバリューの1つ「希望と跳躍の経済活力都市」を実現する戦略の一環として、伝統市場での消費回復に注力している。

市は、伝統市場のオンラインデリバリーサービスの開始準備を終え、6月からは本格的な稼働に入る。また、時代に合わせて経営を革新すると共に老朽化している施設を修繕するなど、多角的な取り組みを模索し、伝統市場の復活に向けて物心両面にわたるサポートを行う計画である。



### ◆ オンラインデリバリーサービスの開始…顧客層の拡大につながる変曲点となるか、期待が高まる

富川市は、6月14日からの伝統市場向けのオンラインデリバリーサービスを開始する。すでに導入済みの中洞サン市場と遠美総合市場に続き、駅谷サンサン市場、江南市場、自由市場など8か所が次々とオンラインサービスを導入する。これにより、購入客の非対面型買い物への需要を満たし、伝統市場のオンライン販路が開拓できる新しい動力を得ることが見込まれる。

店舗ごとではなく、市場単位で配達料金が設定されたため、1つの市場につき4千ウオンの配達料金で、色々な店舗の商品を購入することができる。お客様の注文から2時間以内に、様々な食べ物が自宅まで届き、簡単に受け取ることができる。最低注文金額などの制限条件がなく、価格を問わず1品だけの注文に対しても配達サービスを提供する。

また、会員登録をせずにポータルサイトのNAVERのIDを利用して、誰もがオンラインで買い物ができる。市当局は、NAVER Payを通じた便利な決済とポイント獲得により、オンラインショッピングに慣れている30～40代の新規顧客を吸収し、3割程のリピーターを確保するという見通しである。

運営時間は、月～土曜日の午前10時～午後6時までであり、最初の3か月間は送料無料や割引キャンペーンなどの多彩なプロモーションを行う。

#### ◆文化施設として生まれ変わる中洞サラン市場・上洞市場・遠美総合市場

富川市は、中小企業ベンチャー部が主管した文化観光型事業公募に選定され、2019年から富川市ならではの特色ある伝統市場へのリニューアルに取り組んでいる。

**中洞サラン市場**は、顧客フレンドリー型市場をコンセプトに、市場ゲートの設置やBIの開発、お客様サポートセンター内の休息施設づくり、店主の写真を取り付けた看板をかける事業を推進しており、**上洞市場**はアンタクトヒーリングコンサートや安心店舗制などを推進することで競争力のある特化市場の実現に取り組んでいる。また▲店舗のストーリーテリング開発、▲店舗ごとのYouTubeチャンネル開設、▲上洞ストーリーニュースレターやSNS運営などがある。**遠美総合市場**は首都圏唯一の「文化観光型育成事業」に選定され、デジタル遠美総合市場をコンセプトに▲無人店舗運営、▲特化型PB商品の開発、▲ICTを取り入れた非対面イベントの開催など、スマートな伝統市場をリードしていく。

#### ◆施設の現代化を図る伝統市場

伝統市場が衰えた主な理由の一つとして駐車場の問題が挙げられる。富川市は、これらの苦情を解消するために、駐車環境改善事業を推進し、2019年に中洞サラン市場に82台分、江南市場に146台分、上洞市場に56台分の駐車スペースを設けた。さらに合計212億ウオンの予算を投資し、新興市場に100台分と、駅谷南部市場に50台分、コリウル洞窟市場に81台分の駐車スペースを追加に設置することで慢性的な駐車問題を解決する計画である。

駅谷南部市場には、16億6千万ウォンをかけて、雨や雪を遮るアーケードを設置し、アクセシビリティの改善を図る。他にも13か所の市場に火災警報器を設置し、老朽化した電線を整備して、安心して利用できる伝統市場を構築する計画である。

張徳天富川市長は、「富川市は、伝統市場が活気を取り戻し、小商工人を支えるために積極的に支援する」と述べた。